

～令和5年度ジュニア学部開催レポート 第3号～

【親子で発電の仕組みを勉強しました！】

8月5日(土)、飛騨市民カレッジに今年新設されたジュニア学部の講座「でんきの科学実験教室」が開催され、市内小学1～4年生とその保護者の計35名が参加しました。

今回は「自然エネルギー」をテーマに、午前は古川町公民館で座学、午後は移動して実際に発電している施設に見学に行きました！

午前は、水槽を使用したダムと水力発電の模型を使い実際に水を入れて動いているところを見ながら発電の仕組みの説明を聞いたり、手回し発電機を使用して自分で豆電球を点灯させたりしました。また、ペットボトルを活用した風車の発電キットを組み立てて風を利用した発電の仕組みを学びました。

午後は、河合町にある角川発電所と下小鳥ダムへ行き、普段は入れない発電所の内部やダムの堰堤に入り、説明を聞きました。

模型や体験を通して発電の仕組みを学び、その後すぐ、実際に発電を行っているところを体感できたことで、一日で電力発電についてたくさん学ぶことができたのではないのでしょうか。

参加した子ども達からは、「たのしかった！」「模型を実際に作ったのが面白かった」「模型での説明がわかりやすく勉強になった」と感想をもらいました。また、一緒に参加した保護者からも「発電所やダムといった普段は行けないような所に入ることができてよかった」「今後も続けてほしい」「話を聞くだけでなく、体験も多くありよかった」といった感想が聞かれました。

